

平成 29 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社イトーヨーギョー
代表者名 代表取締役社長 畑 中 浩
(コード番号 5287 東証二部)
問合せ先 人事総務室長 山 崎 智 彦
(TEL 06-4799-8850)

固定資産の譲渡及び特別損失の計上に伴う業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、固定資産の譲渡及び平成 28 年 5 月 13 日に公表しました平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,544	45	50	35	12.05
今回修正予想(B)	2,589	45	54	△195	△65.56
増減額(B-A)	45	0	4	△230	—
増減率(%)	1.8	0.0	8.0	△657.1	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	2,348	14	20	18	6.17

(2) 固定資産の譲渡

当社及び当社の非連結子会社である伊藤恒業株式会社が所有する次の遊休土地について、資産の整理・有効活用の観点から売却する方針を決定いたしました。なお、譲渡先・譲渡価格等、詳細につきましては、正式に決定次第、直ちに開示いたします。

所有者名義	住所	帳簿価格
株式会社イトーヨーギョー	兵庫県高砂市曾根町	512,644 千円
伊藤恒業株式会社	兵庫県高砂市曾根町	500 千円
株式会社イトーヨーギョー	兵庫県高砂市阿弥陀町	20,166 千円

(3) 特別損失の理由

下記のとおり遊休土地の売却方針及び所有建物の解体を決定したため、これに伴って生じる減損損失等を、それぞれ特別損失として計上することによるものであります。

1. 遊休土地の売却方針の決定

上記(2)の理由により、当該土地の帳簿価格を正味売却価格まで減額し、「高砂市曾根町」で160百万円、「高砂市阿弥陀町」で10百万円をそれぞれ減損損失として特別損失に計上する見込みでございます。

2. 神戸市灘区の建物解体

平成29年2月3日付で公表しました「本店移転及び資金借入に関するお知らせ」のとおり、現本店を「神戸市灘区」から「神戸市中央区」へ、平成29年4月1日付で移転したことに伴い、旧本店の建物を解体することとなりました。これにより、固定資産の減損損失等として、特別損失43百万円を計上する見込みでございます。

なお、解体後の跡地につきましては、駐車場兼倉庫として、引き続き自社保有する予定であります。

3. 子会社株式評価損の計上

上記1.に伴い当社の非連結子会社である伊藤恒業株式会社の株式について実質価格が低下したため、「金融商品に関する会計基準」に基づき、子会社株式評価損26百万円を特別損失として計上する見込みでございます。

(4) 修正の理由

コンクリート関連事業におきましては、かねてより大きく影響していた道路製品等の発注遅れの好転が顕著に表れたこと、また、建築設備機器関連事業におきましては、工事進行基準による計上遅れがみられていた公共事業を中心とした中・大型工事物件を受注・完工いたしました。これらの結果、売上高、経常利益とも前回発表予想を上回る見込みとなりました。しかしながら、当期純損益については、上記(3)の理由により特別損失が多額に発生することから、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

これにより、平成29年3月期通期の業績予想数値を修正するものであります。

なお、期末配当金につきましては、1株当たり8円となる予定であり、変更はございません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上